

科目名	言語聴覚障害診断学 I			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年	必修・選択	必修
[授業の目的・ねらい]							
言語聴覚障害診断に関連する基礎的概念を習得する。							
[授業全体の内容の概要]							
言語聴覚障害の基礎となると診断の詳細を学ぶ。							
[講師の実務経験]							
[授業終了時の達成課題(到達目標)]							
適切な臨床活動を行うための基礎的能力を養う。							
回数	講義内容						
1	評価診断の理念、評価診断の目的、客観性・妥当性・信頼性の説明						
2	正常値と個人差の理解、仮説の設定・検証、事実の記述						
3	事実記述の例、練習						
4	評価の基礎的過程、検査の種類と選択						
5	検査報告書の作成						
6	訓練の方法、ゴール設定、基礎訓練と応用訓練について						
7	相談と環境調整、チームアプローチについて						
8	失語症の診断の基礎知識について						
9	失語のタイプ分類について(ブローカ、ウエルニッケ失語等)						
10	失語症の専門用語の再確認(喚語障害、錯語、反響言語等)						
11	検査方法について(自発話、復唱等)						
12	失語症のタイプ分類実践について①						
13	失語症のタイプ分類実践について②						
14	失語症のタイプ分類実践について③						
15	失語症のタイプ分類実践について④、まとめ						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
なし・配布プリント							
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】							
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。							